

ともえ 2040

発行：みよし学園コミュニティ・スクール
(事務局：市立三次中学校)

令和6年6月1日
No. 51

地域とともにある学校 河内小学校 ～河内地域のさらなる活性化に向けて～

令和6年度がスタートして、早いものでもう2ヶ月が経過しました。河内地域は長年「地域とともにある学校づくり」に熱心に取り組んでくださっており、組織体制も整っています。地域の方々に支えられ、ともに活動や学習ができることに子ども達、そして教職員一同いつも感謝しています。

【読み聞かせ：学習支援部会活動】

本年度も毎月第2木曜日に臺和美さんと岩見篤子さんに来ていただき、本の読み聞かせをしていただいています。臺さん、岩見さんとも河内小学校に読み聞かせに来ていただくのは本年度で17年目。毎月1回ですが子ども達の実態やその季節にあった本を選んで持ってきてくださり、読んでくださいます。子ども達は「読み聞かせ朝会」が大好きで、毎月楽しみにしています。毎年7月は平和学習の一環として、「戦争・平和」に関する本を読み聞かせてくださいます。



【山家地域での田植え体験：キャリア教育部会活動】

5月29日（水）に JA 職員さんや JA 女性部、そして山家地域の方々と一緒に田植え体験をしました。山家地域は昨年度「地域再生団体ヤマガノヒカリ」という会を設立し、お米作りや地域資源を生かした様々な体験事業を通して、地域の活性化を目指した活動に取り組んでおられます。今回は、「あきろまん」の苗を植えました。始めは手植えで、後半は GPS 機能を搭載した新型の田植え機に乗って田植え体験をしました。昨年度は収穫した米を使って「河内ふれ愛祭り」で JA の女性部さんと一緒におむすびを作って配ったり、1 kg ずつを米袋に入れて 500 円で販売したりしました。



これは、昨年度、収穫した米を袋に入れて「河内ふれ愛祭り」で販売した品です。

本年度はコミュニティ・スクールの活動をさらに充実させるべく、新たな取組として、「河内の地域課題」について学習し、その課題解決に向けて、自分たちは何ができるのか、何がしたいのかを考え、地域に貢献できるような学習や活動に取り組みます。6月10日（月）には、学校運営協議会の委員である河内まちづくり連合会長の堂前昭己さんと、同じく学校運営協議会委員の田上明子さんに来ていただき、河内地域に対する思いをいろいろと聞かせていただく予定にしています。

「三次どんちゃん」次はわたし達！ 三次小3・4年生

三次小学校では、3・4年生の「ふるさと発見『三次どんちゃん』」の学習が始まりました。

4年生は、これまでの学びを3年生に伝えます。「ぼく達が教えてもらったように、3年生にやさしく教えてあげたい。カッコいい4年生になる。」と張り切っています。

3年生には、どんちゃんに込められた願い、歴史を知る時間ともなります。先日（5月29日）のPTCでは、柄つき太鼓づくりに挑戦しました。

つくりながら「きんさい祭り」の話をしたり、親子だけでなく保護者同士がふれあい、地域とつながることができました。

今、3年生の教室からは、「どんどん かっかか♪」とリズムを口ずさむ子どもの声が聞こえてきたり、4年生は自分の担当楽器を練習したりと、それぞれに張り切って取り組んでいます。秋の運動会では、3・4年生で発表する予定です。太鼓づくり・どんちゃんでは、三次太鼓の天野秀樹さん、天野芳明さんをはじめ、地域の皆様にご指導いただいています。いつもありがとうございます。子ども達は、ふるさと三次の伝統「三次どんちゃん」を全身で楽しみ、表現する日を心待ちにしています。



「ともえ 2040」へのご意見やご感想、子育てやまちづくりに関するご意見等を自由にお寄せください。

【問い合わせ・意見送付先】市立三次中学校 TEL 0824-62-2896 FAX 0824-62-2899

E-mail miyoshi-j@school.miyoshi.hiroshima.jp